



皆様には日頃からご指導ご支援を賜わり、心より感謝申し上げます。

当協会は、本年度も理事会及び評議員会において決定致しました事業計画に基づき、成長ホルモン治療関係、研究助成事業およびヨード欠乏症対策事業等を着実にやっていく所存であります。本年度も格別のご指導ご協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

理事会・評議員会の開催について

1. 第 5 回理事会の開催

理事会は、3月6日(火)午後2時より、理事14名出席のもと開催された。
議案:平成24年度事業計画に関する件
平成24年度収支予算に関する件
審議の後、いずれも原案通り承認された。

2. 第 5 回評議員会の開催

評議員会は、3月13日(火)午後2時より、評議員14名出席のもと開催された。
議案:平成24年度事業計画に関する件
平成24年度収支予算に関する件
評議員選任に関する件
審議の後、いずれも原案通り承認された。

評議員退任・新任は次のとおり
退任 長命康寛 新任 磯部和典

平成 24 年度研究助成金・指定課題研究 自由課題研究募集について

●指定課題研究募集

1. 研究助成の対象の研究分野

成長科学に関する研究であって次の研究分野のいずれかに該当するもの。

- (a) 成長ホルモン療法の治療効果に及ぼす諸因子の解析並びにアドバース・イベントの調査に関する研究
 - (b) 成人成長ホルモン分泌不全症患者の診断、治療及び追跡調査に関する研究
 - (c) 成長ホルモン及び IGF-I 測定に関する研究
 - (d) ヨード摂取と妊婦及びその出生児の甲状腺機能に関する臨床的研究
 - (e) 低身長児の生活の質評価に関する研究
2. 助成金額：1年1課題につき
(a) 300万円 (b) 150万円 (c) 50万円
(d) 70万円 (e) 80万円
3. 助成期間：原則として1期(2年)
4. 応募方法：必ず3施設以上による共同研究チームを組み、当協会所定の申請用紙に記載のうえ、6月30日迄に提出して下さい。

●自由課題研究募集

1. 研究助成の対象の研究分野

成長科学に関する研究であって次の研究分野のいずれかに該当するもの。

- (1) 身体の成長・発達に関する基礎的・臨床的研究
- (2) 成長ホルモン又は成長ホルモンの関連因子に関する基礎的・臨床的研究

(3) 心の発達に関する研究

- 2. 研究課題：上記の研究分野に関し、応募の研究者が提案する課題
- 3. 助成金額：1件につき50万円
- 4. 応募方法：
(1) 当協会所定の申請用紙に記載のうえ、6月30日迄に提出して下さい。
(2) 1施設からの応募は1題に絞って下さい。
(3) 外国での研究については、応募をご遠慮下さい。

●成育治療研究指定課題研究募集

1. 研究助成の対象の研究分野

胎児より新生児・乳児・幼児・学童期・思春期を経て生殖年齢までのヒトのライフサイクルの成育に影響を及ぼす薬物に関する研究及びこの期間の障害の治療に関する研究。

2. 研究課題及び助成金額

- (1) 小児肝移植術後の成長に関する研究
50万円
- (2) 抗リン脂質抗体症候群合併妊娠と胎児の発育
50万円
- 3. 応募方法：
(1) 当協会所定の申請用紙に記載のうえ、6月30日迄に提出して下さい。
(2) 1つの研究グループからの応募は1題に絞って下さい。
(3) 外国での研究については、応募をご遠慮下さい。

The 6th International Congress of the GRS and IGF Society 演題発表者への助成について

2012年10月17日～20日・ドイツミュンヘンにおいて開催されるGRS-IGF国際会議へ出席される方へ参加費用の助成を行います。

- 1. 応募資格：GRS-IGF国際会議の筆頭演者(口演でもポスターでも可)として採択された40歳未満の方(ただし、GRS/IGF国際会議事務局からTravel Grantを受ける事になっている方はご遠慮下さい。)
- 2. 助成金額：10万円
- 3. 提出書類：当協会所定の申請用紙、提出した抄録、並びに採用通知のコピー
- 4. 提出期限：7月31日協会必着

★上記募集の選考結果は、9月上旬に応募者に通知します。なお、申請用紙は、当協会ホームページよりダウンロードできます。

寄附ご芳名

ニュース86号以後、次の方々からご寄附がありました。

貴重なご寄附、誠に有難うございました。
伊勢化学工業(株)殿
関東天然瓦斯開発(株)殿
合同資源産業(株)殿
日本天然ガス(株)殿
(順不同)

主治医の先生方へ

SGA 性低身長症への GH 用量の注意喚起について

成長科学協会では、成長ホルモン（GH）治療中に「ヒト成長ホルモン治療成績・中止・再開・転院報告書」（以下、報告書）を毎年提出していただいておりますが、2008年10月に承認された SGA 性低身長症についても、治療中のデータを蓄積してきました。これまでに提出していただいた報告書から GH 用量を調査したところ、承認用量の 0.47mg/kg/週を超える投与量で治療されているケースが稀でないことが分かりました。安全のためには承認用量の遵守が望まれますので、そのような場合には、継続治療の適応判定結果とともに、注意喚起の文書を添え返信することにいたしました。

- 1) http://jspe.umin.jp/pdf/EMA_gakkaikenkai2011.12.28.pdf （日本小児内分泌学会 2011年12月28日）

お知らせ

第 25 回公開シンポジウム開催

心の発達研究委員会の企画により

『幼児の生活と就学前教育を考える』をテーマに、下記のとおり開催。

〈日 時〉6月2日（土）1時30分～4時30分

〈場 所〉UDX シアター／秋葉原 UDX4 階（JR 秋葉原駅電気街口徒歩 2 分）

〈演 者〉

岩田 力（東京家政大学家政学部児童学科 教授）

“子どもの保健”

秋田喜代美（東京大学大学院教育学研究科 教授）

“保育の質と子どもの発達”

ぜひ、お気軽にご参加ください。（入場無料）